

「証券化市場の動向調査」

～2007年度の発行動向～

以下は、日本証券業協会及び全国銀行協会が毎月実施している「証券化市場の動向調査」(日本証券業協会ホームページ<<http://www.jsda.or.jp/>>参照)について、2007年度(2007年4月～2008年3月)の結果を取り纏めたものです。

図表データについては、別紙をご参照ください。また、参考として、「『証券化市場の動向調査』における項目毎の記載割合」を取り纏めています。

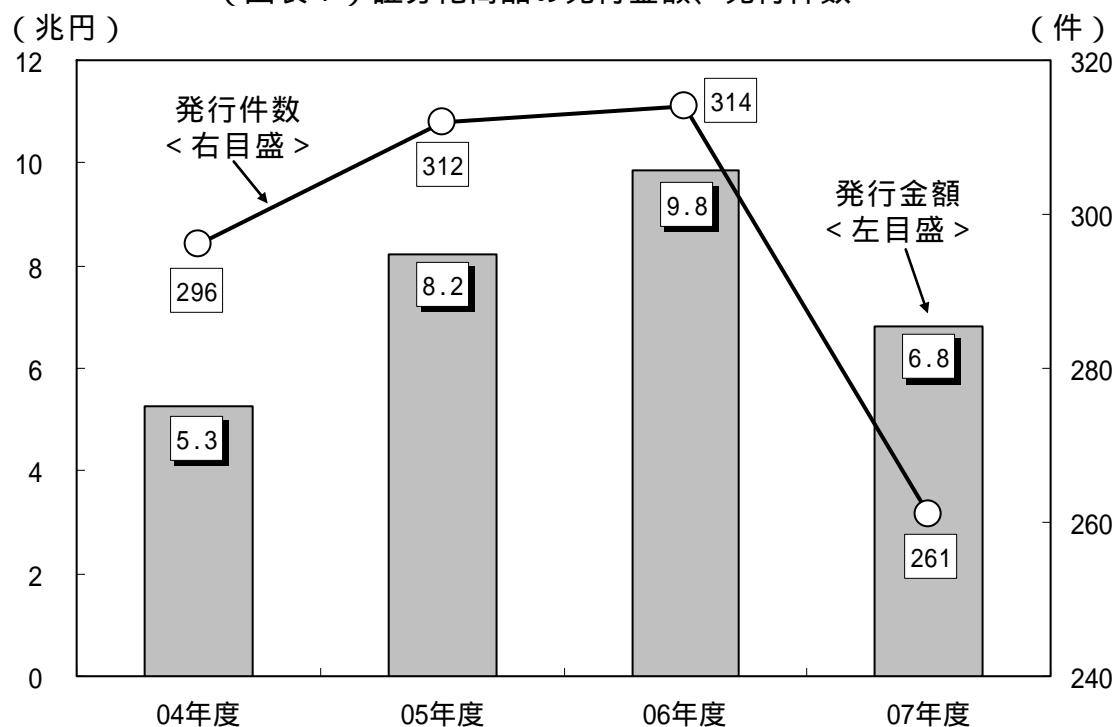
1. 証券化商品全体の発行動向

2007年度における証券化商品の発行金額は6.8兆円となり、調査開始(04年度)以来最大の規模であった06年度(9.8兆円)対比 30.8%の減少となった(図表1)。

件数ベースでも、07年度(261件)は06年度(314件)対比 16.9%の減少となった。

04年度以来3年振りに、普通社債の発行金額(9.4兆円)を下回った。

(図表1) 証券化商品の発行金額、発行件数

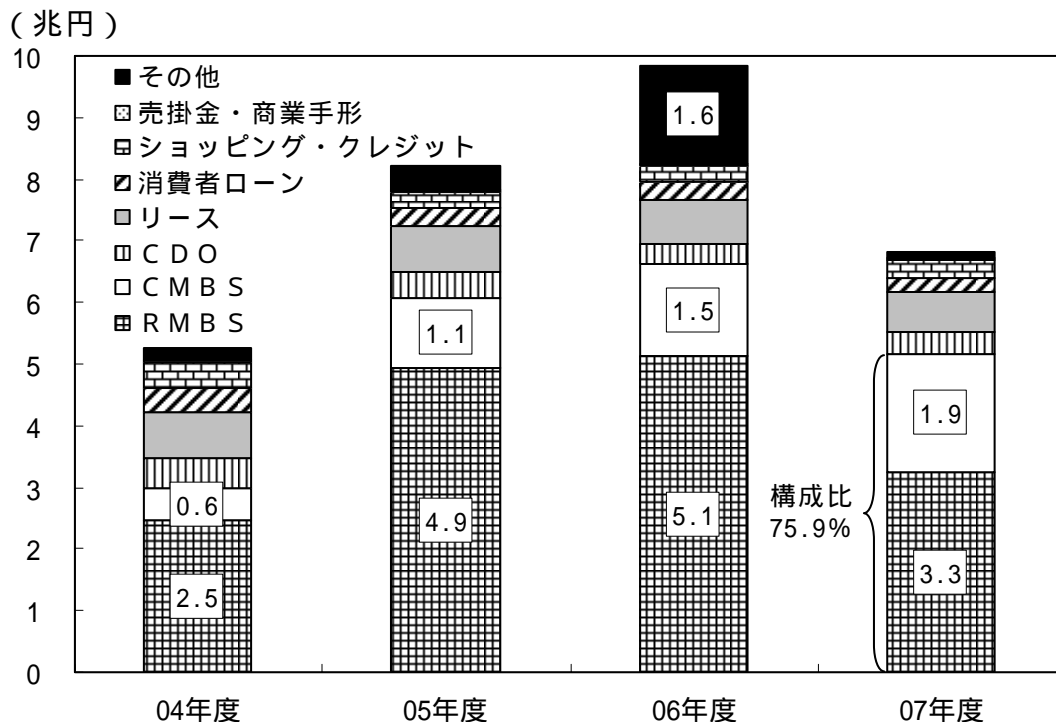


2. 裏付資産別の発行動向

2007年度における証券化商品の発行金額を「裏付資産」別にみると、住宅ローン債権等を裏付資産とした「R M B S (Residential Mortgage Backed Securities)」が3.3兆円と最も多く、次いで商業用不動産担保ローン債権等を裏付とした「C M B S (Commercial Mortgage Backed Securities)」(1.9兆円)となった(図表2)。R M B S、C M B Sの2タイプで発行金額全体の75.9%を占めた。

前年度との対比では、R M B Sが36.3%減少した(06年度5.1兆円 07年度3.3兆円)一方、C M B Sは+26.5%増加した(同1.5兆円 同1.9兆円)。

(図表2) 証券化商品の発行金額(「裏付資産」別)



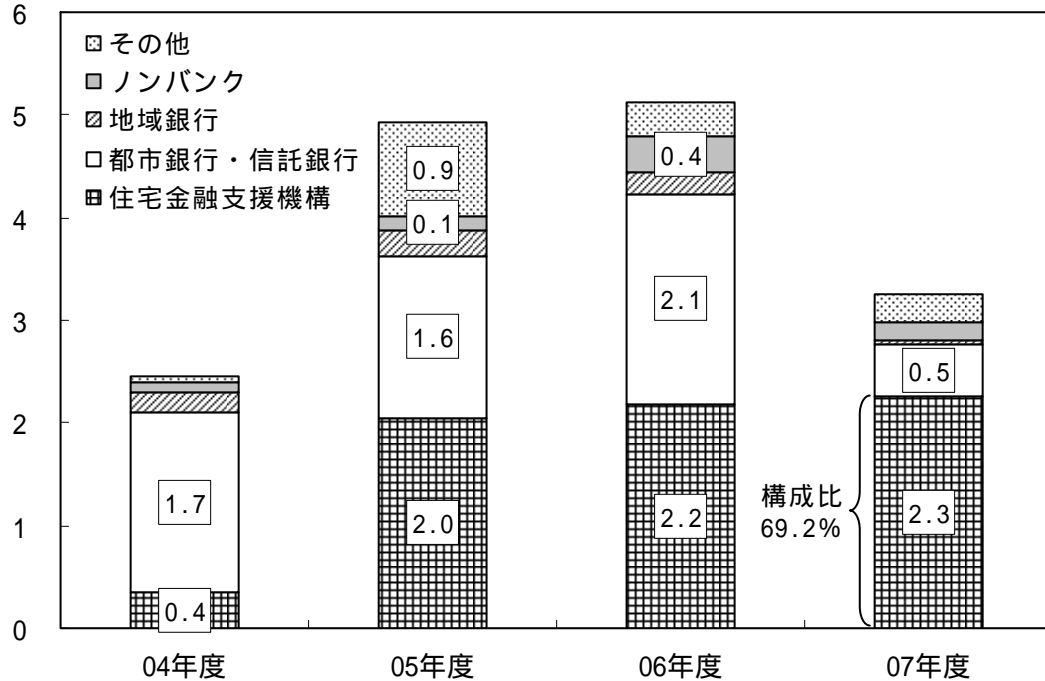
裏付資産の具体的な分類は、以下のとおり。

- 「R M B S」: 住宅ローン債権、アパートローン債権
- 「C M B S」: 商業用不動産担保ローン債権、商業用不動産
- 「C D O (Collateralized Debt Obligations)」: 企業向け貸付債権、社債、C D S等
- 「リース」: リース料債権
- 「消費者ローン」: 消費者ローン債権、カードローン債権
- 「ショッピング・クレジット」: ショッピング・クレジット債権、オートローン債権
- 「売掛金・商業手形」: 売掛債権、手形債権
- 「その他」: 事業キャッシュフロー、診療報酬債権等

(1) R M B S

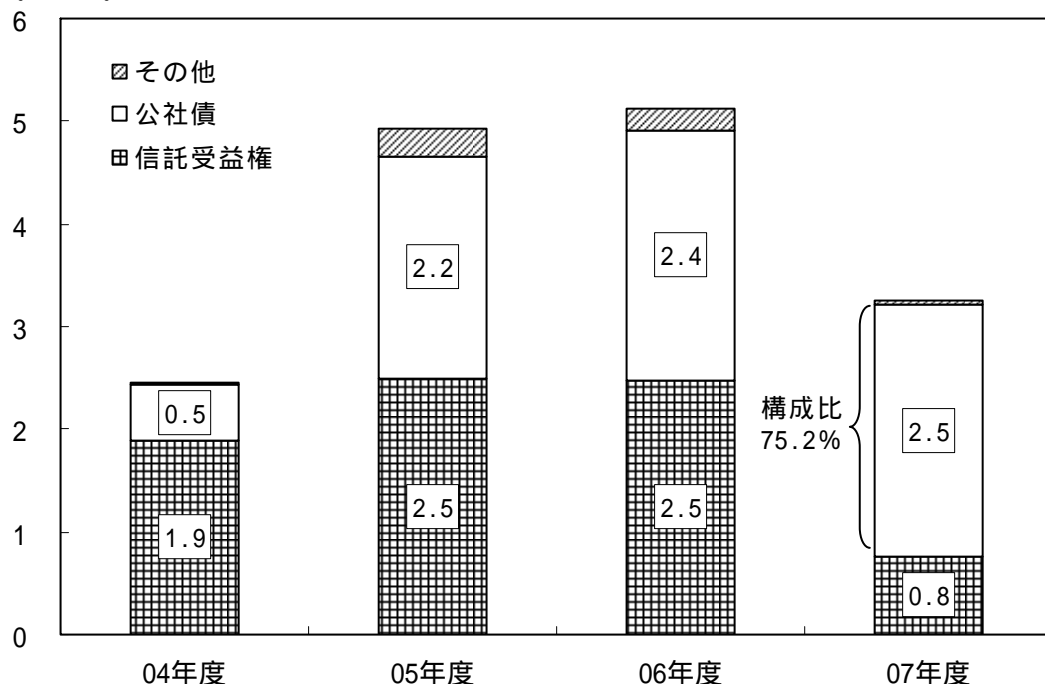
- ・ R M B S の発行金額 (3.3 兆円) を「オリジネーター」別にみると、「住宅金融支援機構」(2.3 兆円) が最も多く、全体の 69.2% を占めた (図表 3)。「都市銀行・信託銀行」(0.5 兆円) は、前年度 (2.1 兆円) 対比 74.8% の減少となった。

(図表 3) R M B S の「オリジネーター」別発行金額
(兆円)



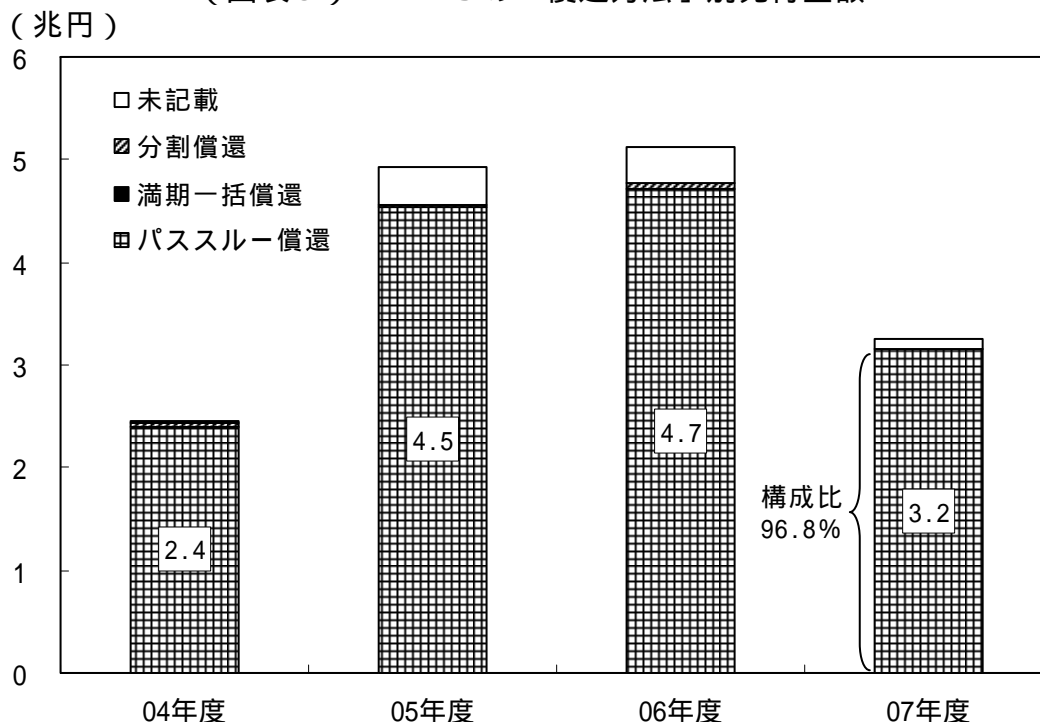
- ・ R M B S の発行金額 (3.3 兆円) を「発行形式」別にみると、「公社債」(2.5 兆円) が最も多く、全体の 75.2% を占めた (図表 4)。「信託受益権」(0.8 兆円) は、前年度 (2.5 兆円) 対比 69.3% の減少となった。

(図表 4) R M B S の「発行形式」別発行金額
(兆円)



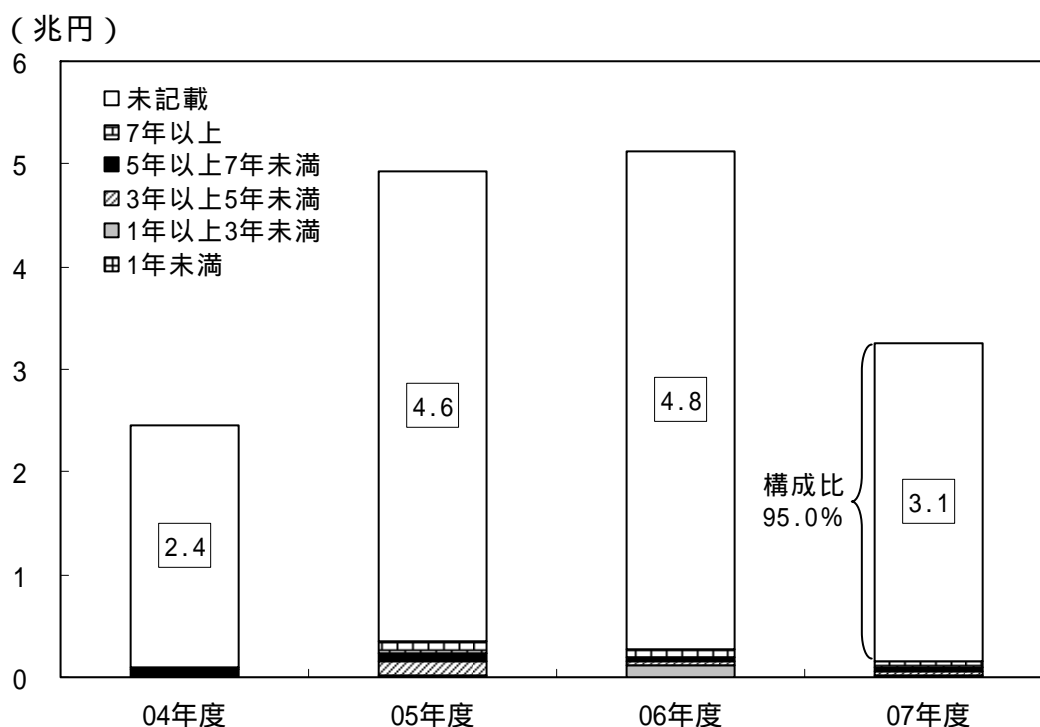
- ・ R M B S の発行金額 (3.3 兆円) を「償還方法」別にみると、「パススルー償還 (裏付資産の回収実績に連動して元本が償還される)」(3.2 兆円) が全体の 96.8% を占めた (図表 5)

(図表 5) R M B S の「償還方法」別発行金額



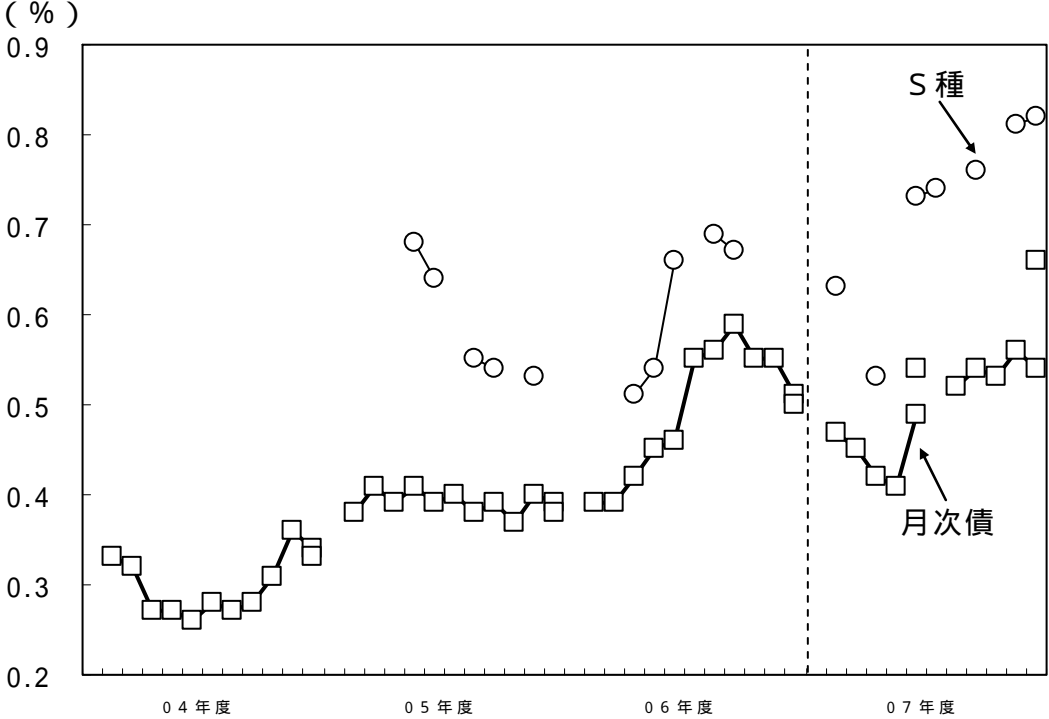
- ・ R M B S の発行金額 (3.3 兆円) を「予定 / 平均年限 (満期一括償還の場合は予定償還年限。分割償還が行われる場合は平均償還年限)」別にみると、「未記載」(3.1 兆円) が全体の 95.0% を占めたが、記載のあるなかでは、「7年以上」(0.1 兆円) が最も多くなった (図表 6)

(図表 6) R M B S の「予定 / 平均年限」別発行金額



- 住宅金融支援機構（旧住宅金融公庫）R M B Sのローンチスプレッド（表面利率と、条件決定時の国債利回りとの差）をみると、夏場までは縮小を続けたが、秋以降上昇に転じ、その後高止まった（図表7）。

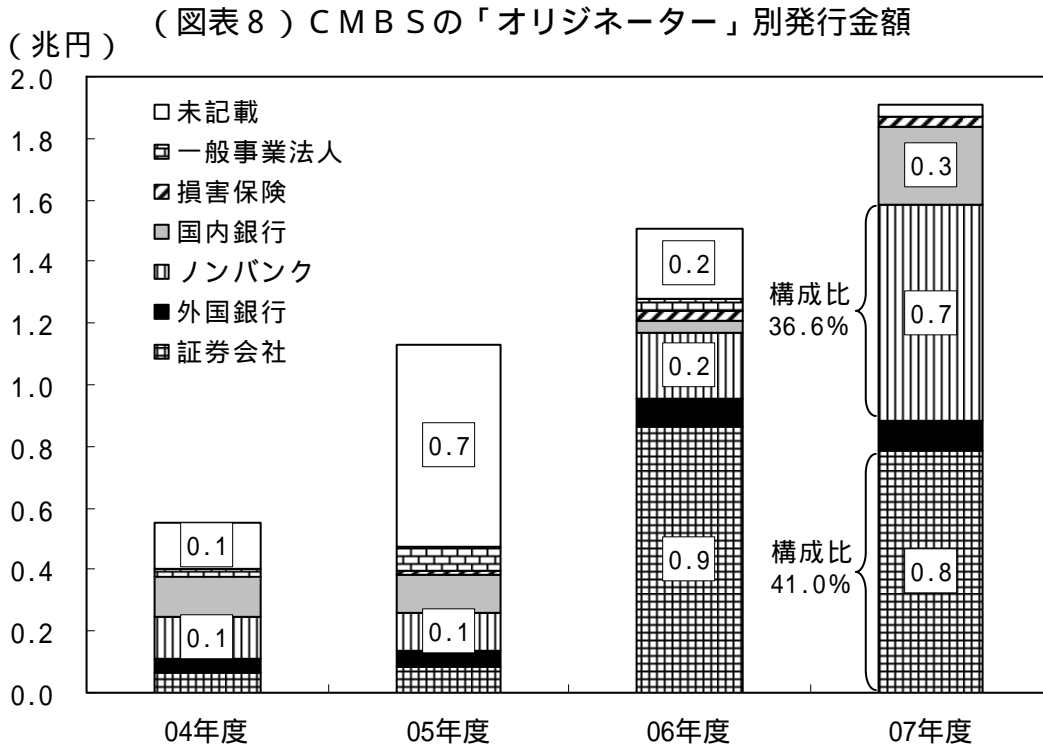
（図表7）住宅支援機構（旧住宅金融公庫）R M B Sのローンチスプレッド



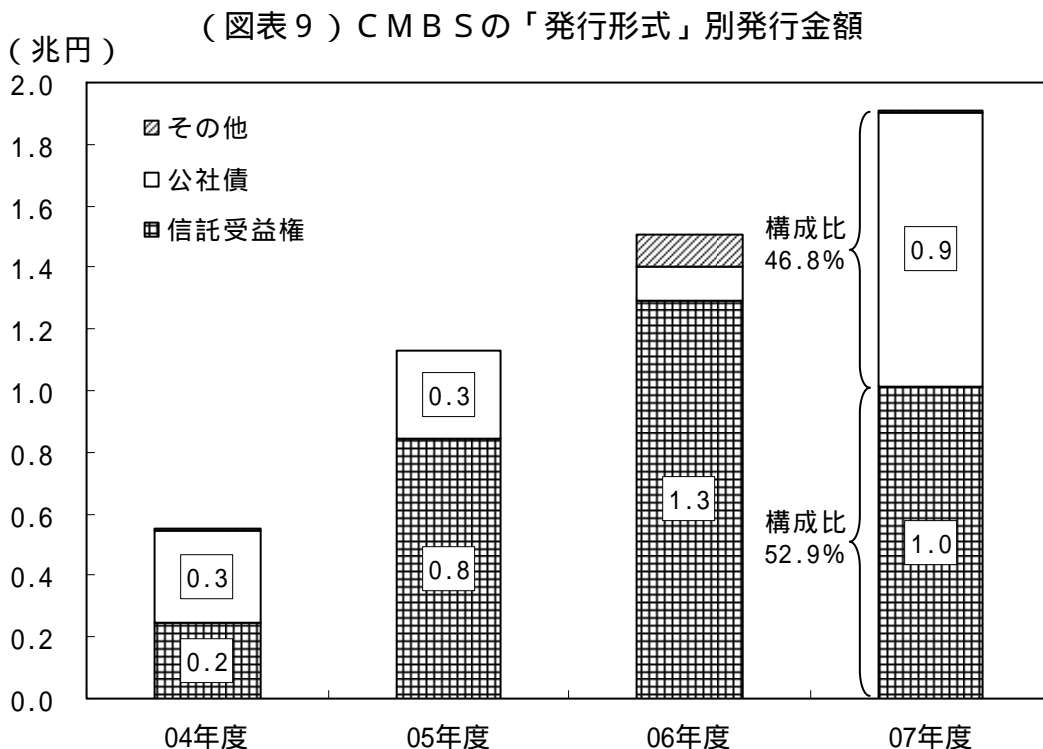
「S種」は、旧住宅金融公庫が過去に直接実行した住宅ローンを証券化した債券。

(2) CMBS

- CMBSの発行金額（1.9兆円）を「オリジネーター」別にみると、「証券会社」（0.8兆円＜構成比41.0%＞）が最も多く、次いで「ノンバンク」（0.7兆円＜同36.6%＞）となった（図表8）。「ノンバンク」は、前年度の3.2倍の発行金額となった（06年度0.2兆円 07年度0.7兆円）。

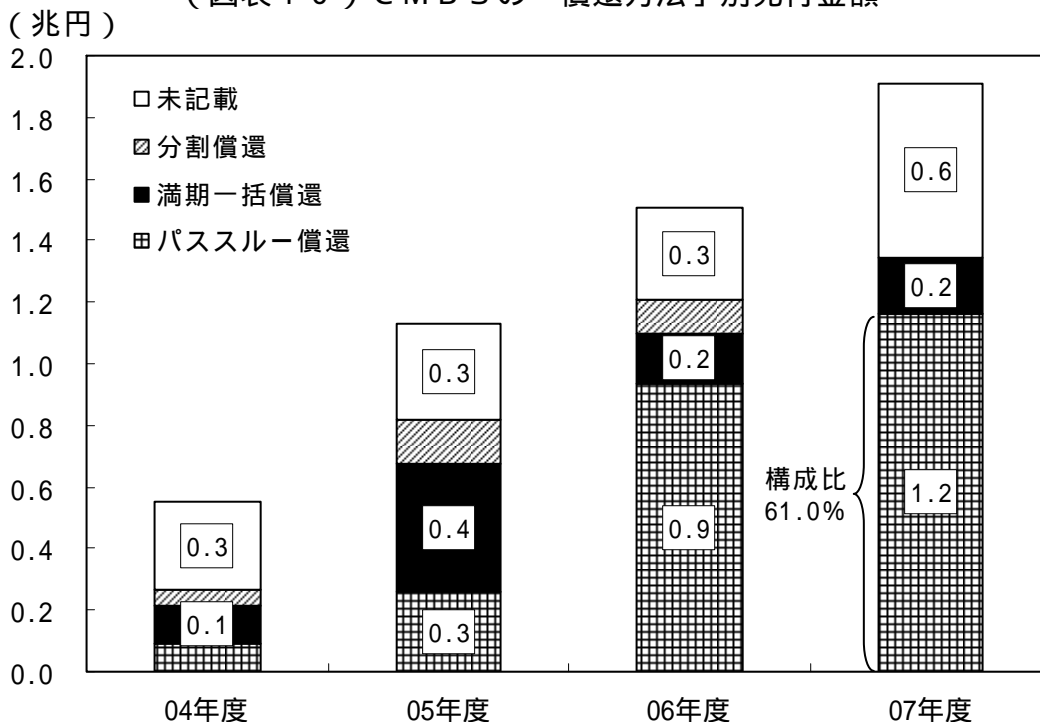


- CMBSの発行金額（1.9兆円）を「発行形式」別にみると、「信託受益権」が1.0兆円（構成比52.9%）、「公社債」が0.9兆円（同46.8%）となった（図表9）。「公社債」は、前年度の7.9倍の発行金額となった（06年度0.1兆円 07年度0.9兆円）。



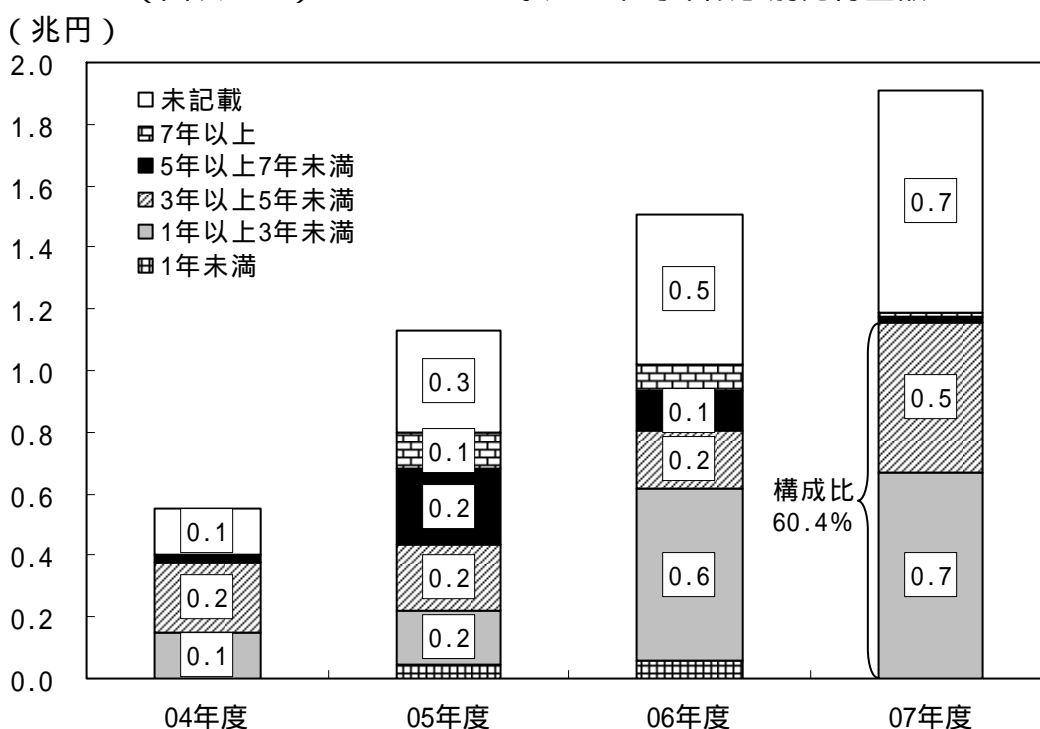
- ・ C M B S の発行金額 (1.9 兆円) を「償還方法」別にみると、「パススルー償還」が 1.2 兆円と最も多く、全体の 61.0% を占めた (図表 1 0) 。

(図表 1 0) C M B S の「償還方法」別発行金額



- ・ C M B S の発行金額 (1.9 兆円) を「予定 / 平均年限」別にみると、「未記載」(0.7 兆円) が最も多いが、記載のあるなかでは「1年以上3年未満」(0.7 兆円) 「3年以上5年未満」(0.5 兆円) が多く、この2つで全体の 60.4% を占めた (図表 1 1) 。

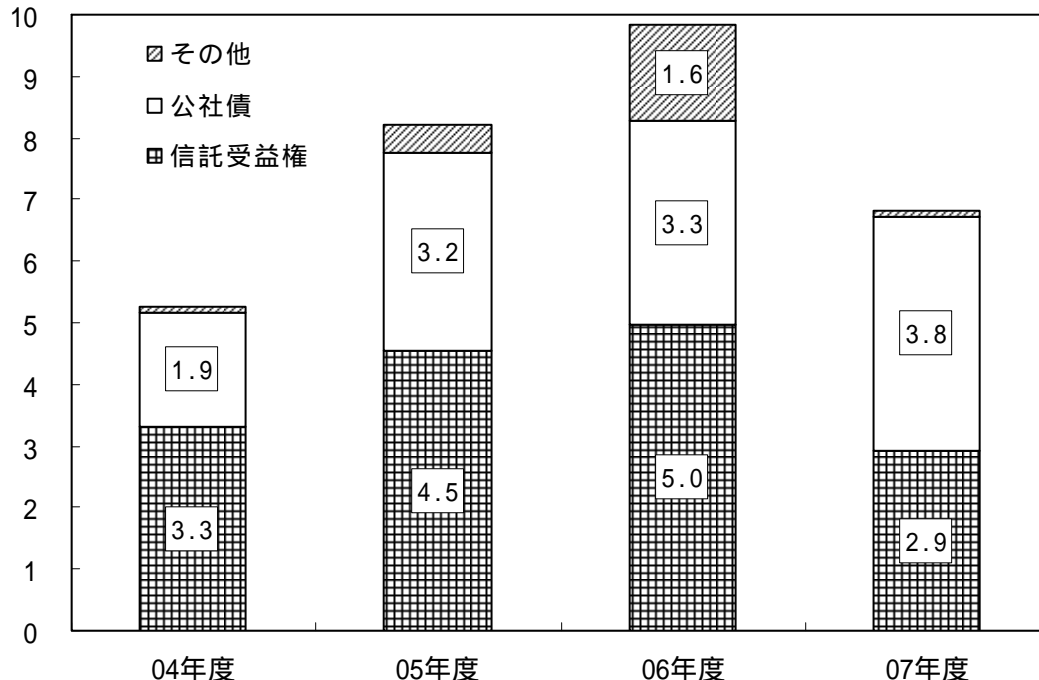
(図表 1 1) C M B S の「予定 / 平均年限」別発行金額



3. 発行形式別の発行動向

- 2007年度における証券化商品全体の発行金額(6.8兆円)を「発行形式」別にみると、「公社債」が3.8兆円、「信託受益権」が2.9兆円となった(図表12)。うち住宅金融支援機構(旧住宅金融公庫)RMB Sが2.3兆円。

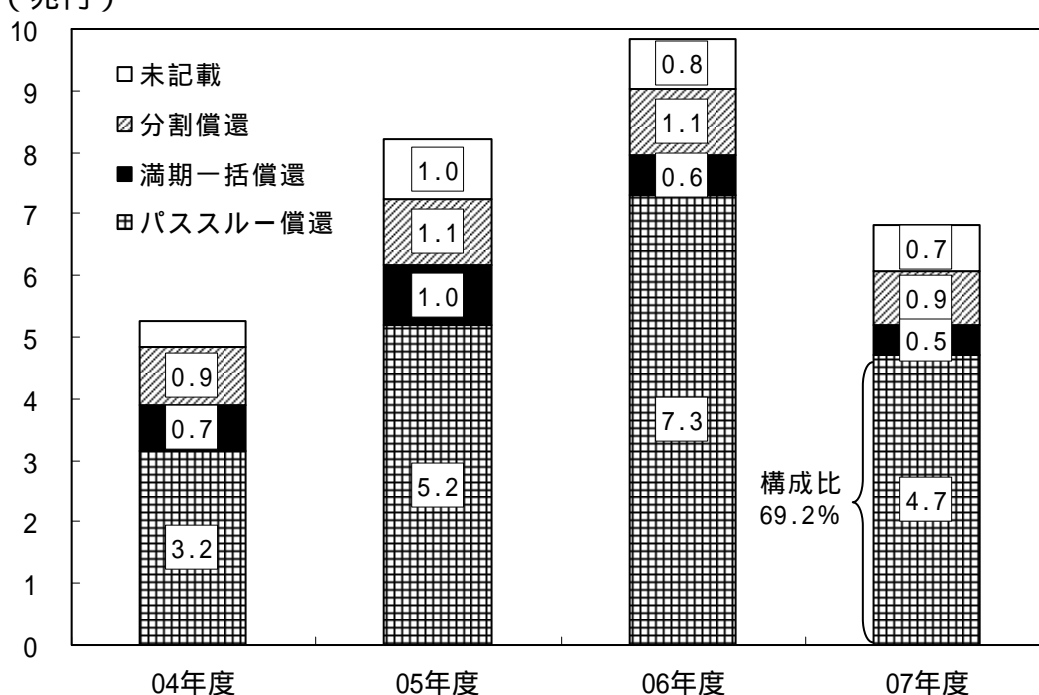
(兆円) (図表12) 証券化商品の「発行形式」別発行金額



4. 償還方法別の発行動向

- 2007年度における証券化商品全体の発行金額(6.8兆円)を「償還方法」別にみると、「パススルー償還」が4.7兆円と全体の69.2%を占め、次いで「分割償還」が0.9兆円、「未記載」が0.7兆円、「満期一括償還」が0.5兆円となった(図表13)。

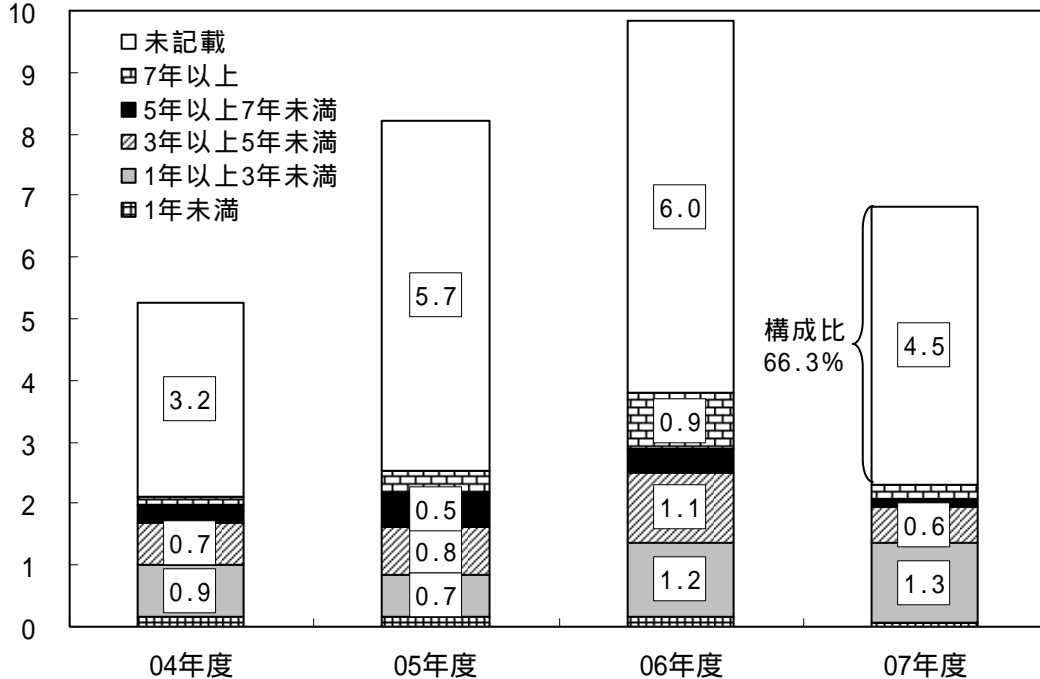
(兆円) (図表13) 証券化商品の「償還方法」別発行金額



5. 予定 / 平均年限別の発行動向

- 2007年度における証券化商品全体の発行金額（6.8兆円）を「予定 / 平均年限」別にみると、「未記載」が4.5兆円と全体の66.3%を占めたが、記載のあるなかでは、「1年以上3年未満」が1.3兆円、「3年以上5年未満」が0.6兆円となった（図表14）。

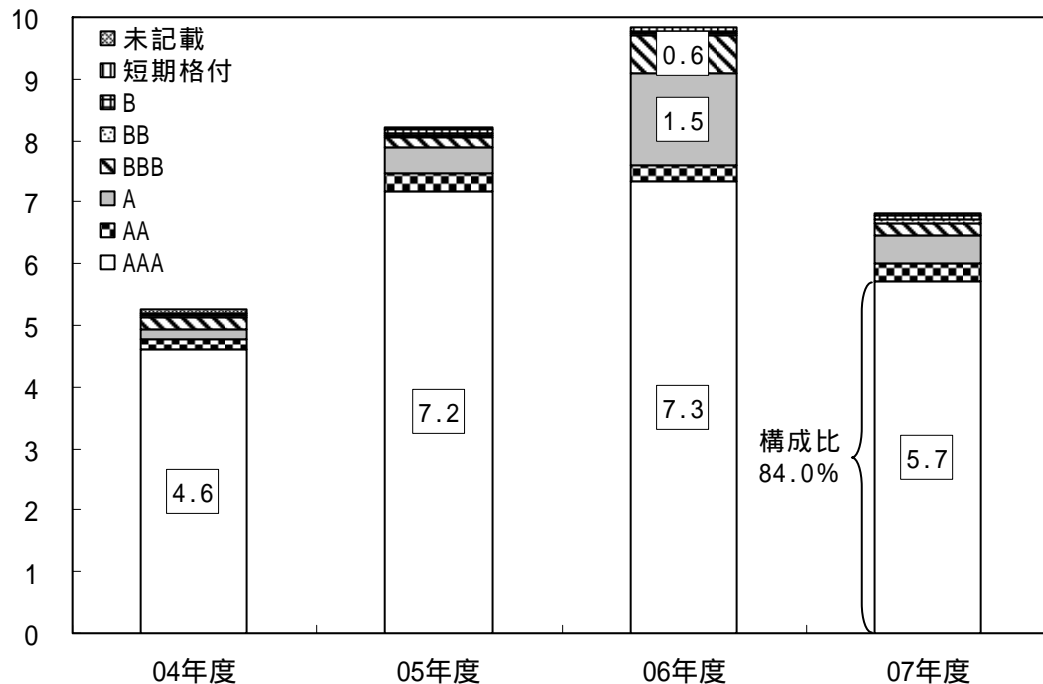
（兆円）（図表14）証券化商品の「予定 / 平均年限」別発行金額



6. 格付別の発行動向

- 2007年度における証券化商品全体の発行金額（6.8兆円）を「格付」別にみると、「AAA」が5.7兆円と全体の84.0%を占めた（図表15）。

（兆円）（図表15）証券化商品の「格付」別発行金額



以上